

青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター
電話 52-0894



8月の活動日誌から ～各班の活動紹介～



8月2日(金) 片丘5班

午後1時50分から、ショッピングセンターGAZAの3階駐車場の車の中の点検、2階と1階全店舗内の点検を実施。3、4組の子どもたちが勉強をしていた。店内は異常は見られなかった。その後は、ゲームセンターアピナへ移動し、駐車中の車の中を点検。店内を巡回する。駐輪場は自転車が1台しかなかった。子どもは少なく、今やゲームセンターは高齢者の憩いの場になっていた。ちなみに気温は34℃でゲームセンターに1人でいた子どもに声をかけると、保護者はコインを買いに行っているとのことだった。

8月21日(水) 高出7班

本日は、18時にゲームセンターアピナに集合し、巡回を行いました。集合した頃には高校生くらいの学生3人や親子連れが帰っていくところで、その他にも駐輪場には数台の自転車が停まっていた。バッティングコーナーでは、少年野球のコーチと子どもたちが練習を行っていました。親子連れの姿は見られましたが、子どもだけで遊んでいる子どもはいませんでした。

その後ギャザに移動し、屋上駐車場から1、2階の各店舗とトイレを巡回しました。1階の雑貨店で最近の様子を店員の方に聞いてみると、万引きは時々あるとのことでしたが、青少年が関わっているかどうかについては、全ては把握できていないとのことでした。



8月23日(金) 洗馬9班

信号を守り安全に下校できていた。

8月29日(木) 宗賀11、12班

台風が来る前の雨の中、宗賀小学校の通学路の見守りを行いました。普段からスクールバス通学の子どもたちが多く上に、この雨のため保護者の迎えの車が多く見られ、歩いて帰る子どもはわずかで残念ながら少々さびしい気持ちでした。

8月30日(金) 塩尻東3、4班

台風の影響により中止しました。

【9月の班活動予定】

9/4(水)	北小野13班	両小野小通学路見守り
9/6(金)	大門1班	塩尻西小通学路見守り
9/12(木)	片丘5班 吉田8班	丘中学校通学路見守り
9/13(金)	塩尻東3班 4班	塩尻中通学路見守り
9/18(水)	大門2班 高出7班	桔梗小通学路見守り
9/20(金)	檜川14班	檜川小中付添い下校

9/21(土)～9/30(月)まで
秋の全国交通安全運動です

【全国重点】

- 1、反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 2、夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 3、自転車・特定小型原動機付き自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

【長野県重点】

○高齢者の交通事故防止



夕方、夜間は反射材を！



**8/30(金)～9/5(木)は
防災週間です**



8/30～9/5は防災週間です。災害による被害の軽減には、防災学習や防火防災訓練等、日頃の継続的な取り組みを通じた、一人一人の**防災意識の向上が必要不可欠**です。

先月8月8日に宮崎県で震度6弱の揺れを観測した地震を受け、気象庁は南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震が発生する可能性が普段と比べて高まっているとして、**南海トラフ地震臨時情報**を発表しました。また、お盆休みには台風7号が、8月下旬には台風10号が各地に大きな被害をもたらしました。このように日本は、地質や気象などの自然的条件から、外国と比べても災害が発生しやすい国土と言われています。

『フェーズフリー』という言葉をご存じですか

もしもの時のために、防災用品を準備することは大切なことです。しかし、普段は使うことのないまましまっておくことは意外と大変です。せっかく備えておいた食料が賞味期限が切れになってしまったことはありませんか。

フェーズフリーとは、「**日常**」と「**非常時**」という考えを取り払い、普段使っている物やサービスを工夫して災害時にも役立てるという考え方です。



例えば・・・

ペットシートや猫砂は
多めにストックして
いざという時には
簡易トイレに利用！

牛乳や豆腐も常温
長期保存できるもの
をローリングストック

日頃から部屋をきれいに！落下物などからの危険を回避

散歩しながら近所の
商店街で買い物
日頃から地域で
コミュニケーション作り

**私たちの活動も
フェーズフリー**

私たちが日々行っている
あいさつ運動や見守り活
動も、フェーズフリーと言

えるのではないのでしょうか。住んでいる地域を歩いてみることで、普段は気付かない危険箇所が見えたり、子どもたちや地域の人たちとの交流が生まれたりと、交通安全だけでなく地域のつながり作りのためにも重要な活動です。災害の被害を軽減するには

自 助

1人1人が自ら取り組むこと

共 助

地域や身近にいる人同士が一緒
に取り組むこと

公 助

国や地方公共団体などが取り組
むこと

が不可欠です。万が一の時に円滑に助け合いができるように、日頃から「**地域の力**」を養っておく必要があります。『**信州防災手帳**』には、

○自治会や町内会の活動に参加し、地域の人たちと顔見知りになる

○自分たちの住んでいる地域を見て回り、気づいた危険箇所などを地図に書き込んでおく

○地域の防災訓練に家族で参加する など
自らの命は自らが守る、お互いに助け合う意識をもって防災に取り組むことが大切と書いてあります。この機会に改めて防災について考えてみましょう。

【お知らせ】

★先日通知を出しましたが、
9/26(木)に青少年健全育成3団体合同研修会を開催いたします。出欠につきましては、9/20(金)までに電話、FAX、メールのいずれかの方法で御連絡ください。

★4月の総会出席分と、9月までの班活動の報酬は10月末頃に指定の口座に振り込み予定です。明細はがきが届きますので御確認ください。

交流文化部 社会教育スポーツ課 社会教育係

電 話：0263-52-0894

F A X：0263-53-7604

窓 口：総合文化センター1階 総合受付

担 当：清水柚果 上條勝美